

正籬副会長がABU会長に就任

アジア・太平洋地域の放送機関などが加盟するABU＝アジア太平洋放送連合の年次総会(オンライン開催)で本日、会長選挙が行われNHKの正籬聡副会長が過半数の票を得てABUの会長に選ばれ就任しました。任期は2024年末までです。



今回の選挙は、イブラヒム・エレン前会長(トルコ TRT)がことし7月に退任したことに伴って行われました。NHKがABU会長を務めるのは7人目で、上田良一前会長が2018年から2020年までABU会長を務めたほか、正籬副会長も2021年1月からABU副会長を務めてきました。

<正籬ABU会長のコメント>

「放送業界は、この10年、デジタル化とインターネットの普及により、大きな変化を迫られてきました。『ポストコロナ』の時代を見据え、ABUがこの転換期を安全に乗り越え、再びフルスピードで発展できるよう、会員の様々な声に謙虚に耳を傾け、会員同士の協力を活発化し、ABUの価値を高めるために、最大限、努力します。そして、会員の皆様が、デジタル社会の中で競争力を保ち、社会に必要とされる存在であり続けるために、ABUが有用な情報交換の場となるよう、最善を尽くします。」

今年の総会は、「メディアのリセット:人々、地球、平和のために」をテーマに、「ポストコロナ」時代の課題解決に向け、メディアに求められる新たな使命について、各国の対応事例の紹介などを交えながらオンライン上で活発に意見が交わされています。

◆ABUとは◆

Asia-Pacific Broadcasting Union＝アジア太平洋放送連合(事務局:マレーシア・クアラルンプール)。1964年に設立され、67の国と地域から250の放送機関等が加盟(2021年10月現在)。「ABUロボコン」の開催や国際共同制作のほか、ニュース素材交換や技術協力などを行っている。NHKは創立メンバーの1つ。